



ローデ・シュワルツ、フランクフルト空港の新ターミナル3にセキュリティスキャナを導入

フランクフルト空港は、年間最大1,900万人の旅客に対応する最先端のターミナル3を開業しました。運用開始に向けて、新たな保安検査レーンにはローデ・シュワルツのミリ波スキャナが導入されています。QPS201およびQPS Walk2000の採用により、旅客のスムーズな流れと高い安全性・快適性を両立します。



Caption: ローデ・シュワルツのセキュリティスキャナは、フランクフルト空港の新ターミナル3でも使用されています。

この新しい空港エリアは、ヨーロッパでも最先端のインフラの一つです。明確な導線設計、デジタルサービス、公共交通機関との接続強化に加え、運営会社Fraportは保安検査の効率化に重点を置いています。そのため、ローデ・シュワルツはターミナルの保安検査レーンにQPS201セキュリティスキャナ17台とQPS Walk2000スキャナ2台を設置しました。

QPS201は、高解像度のミリ波技術とAIベースの解析アルゴリズムを組み合わせたセキュリティスキャナです。禁止物を確実に検出し、誤検知率は規制要件を大きく下回ります。画像解析はほぼ完全に自動化されており、警報が発生した箇所のみを保安スタッフが確認すればよいため、乗客ごとの検査時間を大幅に短縮できます。これにより、同等のセキュリティレベルを維持しながら各レーンの処理能力が向上します。現在、世界中で2,000台以上が稼働しています。

新ターミナルには、通常の歩行速度で通過できるQPS Walk2000スキャナも2台導入されています。従来のスキャナのように静止姿勢をとる必要がありません。

これにより、平均通過時間が短縮されるとともに、高品質なデータと高度なアルゴリズムにより誤検知率の低減も実現しています。Fraportにとっては、保安レーンの処理能力向上、追加検査の削減、全体的な信頼性向上につながります。乗客にとっては、より迅速で快適な保安検査が可能になります。

すべてのスキャナは、欧州民間航空会議（ECAC）、米国運輸保安庁（TSA）および各国当局の認証を取得しており、規制への適合性と国際的な適用性を備えています。ローデ・シュワルツのスキャナ導入により、フランクフルト空港は最先端技術とスムーズな旅客プロセスの両立を実現しています。

www.rohde-schwarz.com

Press contacts:

Europe (headquarters): Patrizia Muehlbauer (phone: +49 89 4129 0; email: press@rohde-schwarz.com)

North America: Hannah Im (phone: +1 301 957-8357; email: hannah.im@rsa.rohde-schwarz.com)

Asia Pacific: Cheyenne Chui (phone: +65 6307 0053; email: press.apac@rohde-schwarz.com)

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じ、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2024/2025会計年度（7月から6月）には31.6億ユーロの純収益を上げました。また、2025年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約15,000名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー20階
〒141-0033

関野 敏正

電話番号: +81 3 5925 1270/1290

Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com

www.rohde-schwarz.com/jp